

登録コード	A3593306		開講年度	2026			
授業科目	専攻演習					担当教員	鈴木 俊介
英文授業名	Selected Seminar						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加修対象】専門的な知識や研究能力を修得している					人類のゲノム機能の進化に関する先端技術および最新研究に関する知識を修得し、その考え方を理解できるようになる。	
	【2022年度以前加修対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					人類のゲノム機能の進化に関する先端技術および最新研究に関する知識を修得し、その考え方を理解できるようになる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加修対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					人類のゲノム機能の進化に関する先端技術および最新研究に関する知識を修得し、その考え方を理解できるようになる。	
	【2024年度以前加修対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					人類のゲノム機能の進化に関する先端技術および最新研究に関する知識を修得し、その考え方を理解できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	哺乳類におけるゲノム機能の進化に関わる論文の紹介とそれをもとにした議論，そして研究進捗報告会に参加してプレゼンテーションや質疑応答の実地演習を行なう。						
(5)授業計画	1. 論文紹介 2. 研究進捗報告会でのプレゼンテーションや質疑応答 3. 研究結果のまとめ方や報告のやり方に関する演習（学期の最後に授業アンケートを行う）						
(6)自主学習の指針	日常的に研究テーマに関わる最新情報を調査・収集することが大事です。						
(7)成績評価の基準	上記の【授業の達成目標】の項に挙げた2つの項目を許容レベルで備えていれば，合格水準（可）とします。						
(8)事前事後学習の内容	上記の【授業の達成目標】の項に挙げた2つの項目について，日常的にトレーニングしてください。						
(9)テストやレポートの予定	テストやレポートは実施しない。						
(10)成績評価の方法	受講態度と，折々に課した課題に対する成果を総合的に判断して評価する。 具体的には，上記の【授業の達成目標】の項に挙げた2つの項目について，許容水準であれば60点，標準的達成レベルにあれば80点，理想的達成レベルにあれば100点とします。 評価基準は以下の通りです。[不可（0-59），可（60-69），良（70-79），優（80-89），秀（90-100）]						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付けます。						
(12)履修上の注意	十分な準備の元に出席すること。						
【教科書】	特になし。						
【参考書】	適宜紹介する。						